

ま ち の 話 題

豊岡

気比の浜大宝さがし大会
なぎさぐっ眠る
2000個のお宝を目指して!!

7月18日、夏の恒例行事、気比の浜大宝さがし大会(気比の浜大宝さがし大会実行委員会主催)が開催され、約800人の観光客らが参加しました。

参加者は、笛の合図で一斉に海に入り、なぎさにまかれた約1万個のアサリを拾いました。アサリの中には、宝(豪華商品など)と交換できる200個の色付きアサリが入っています。見事「金色」のアサリを探し当て、「民宿ペア招待宿泊券」を手に入れた矢野麻美さん(大阪市)は「びっくりしました。カニシーズンにまた豊岡に来たいです」と、うれしそうに話しました。



▲手や足でアサリを探す参加者。色付きアサリが見つかったら、なぎさが歓声で沸く

城崎

子どもエコ博士誕生!

第3回エコハウス暮らしの講座

7月29日、豊岡市エコハウス(城崎町今津)で「夏休み子ども省エネ教室」を開催し、小学生11人が参加しました。

講師には兵庫県立大学環境人間学部教授の土川忠浩さんを迎え、実験などを通して、エネルギーについて楽しく学びました。子どもたちが、アルミ、発泡スチロール、木、ガラス、鉄の素材の板に触れて、温度が高いと感じた順に並べた後、温度計で測ると全て同じ温度。体感温度の不思議も実感しました。

西川翔弥くん(三江小6年)は「節電などを勉強できた。テレビで見るサーモグラフィを体験できて面白かった」と話していました。



▲いろいろな不思議を体感しながら、熱心に学ぶ子どもたち

竹野

出前おもしろ実験室
初めての体験に
ドキドキ・ワクワク!!

7月25日、竹野子育てセンター(竹野町和田)で、竹野小学校区の児童が年間を通してさまざまな活動を行う「青空わくわくスクール」の7月行事「出前おもしろ実験室」が開催され、25人が参加しました。これは、子どもたちに科学の面白さを体験してもらうため、鳥取大学工学部技術部の職員らが小学校などへ出向いて実験室の出前を行うものです。

当日は、紙コッププロケットを炎で飛ばしたり、温泉水から取り出したラドンが放つ放射線を見たりしました。中川晃一君(4年)は「びっくりしたけど楽しかった。いろいろな勉強してみたい」と目を輝かせていました。



▲マイナス196度の世界では、液体窒素の中に入れた風船の中の気体が液体になりびっくり!

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

八代地区三世代ふれあい夏祭り

地域の活性化と

住みよくなるまちづくりを!!

8月5日、八代小学校(日高町中)で、三世代ふれあい夏祭りが開催されました。

この祭りは、地域の活性化と住みよくなるまちづくりにつながるよう、八代地区の各区が協力し、平成5年に始めたものです。

当日は、各区バザーが終始にぎわいを見せ、ステージでは、地元の保育園児や小学生が和太鼓などを披露、また、弦楽器の華麗な演奏やロックバンドが会場を和ませるなど、観客は大いに楽しんでいました。

夜空に打ち上げられた花火が最後を飾ると、幼児から高齢者までが、夜風に吹かれながら、夏を実感しているようでした。



▲日ごろの練習の成果を発揮し、大喝采!

出石

僕も・私も! 図書館のお手伝い!

「夏休み一日図書館員」



▲「ありがとうございます!」はしっかりとあいさつできた…かな?

8月5日と7日の2日間、図書館出石分館(出石町内町)で、出石としよかん・くらぶ会員の子どもたちが「一日図書館員」となって、図書館の仕事を体験しました。両日とも午前と午後5人ずつ、図書館職員と「大声でしゃべらない」「あいさつをする」などを約束し、本の貸出し・返却の受付や本を棚に戻すなどの、慣れない作業を行っていました。中には、来館者から「頑張ってるね」と声を掛けられ、緊張する図書館員も…。

90分間の作業を終えた子どもたちからは「もっとやりたい」「疲れたあ〜」などなど。心の日記に書き込まれたことでしょう。

但東

高橋認定こども園 夕涼み会

夏の思い出をひんぱん!

8月6日、高橋認定こども園(但東町久畑)で、園児たちの夏の思い出づくりや保護者の親睦を深めるため、夕涼み会を開催しました。輪投げやヨーヨー釣りがあり、手作りのお化け屋敷では、泣いて出てくる子や「全然怖くなかった」ともう1回入る子がいて反応はさまざま。「生田流箏曲双龍会但東支部」の皆さんが、琴で、曲目「さんぽ」を演奏すると、園児たちは立ち上がって歌っていました。

今回、認定こども園になって初めての大きな行事でしたが、地域の方々の協力もあり、会は大盛況。参加者は、思う存分夕涼み会を楽しんでいました。



▲園舎内は参加者で大にぎわい